



学校だより 5月号



令和8年 4月30日
横浜市立三ツ沢小学校

三ツ沢っ子の学びをより豊かに

校長 益子 照正

入学式には残っていた校庭のサクラもすっかり葉桜となり、新緑が目飛び込んできます。今年の4月は、全国的に寒の戻りが少なく、平年より暖かい中での新年度スタートとなりました。この気候は、少なからず不安を抱えている三ツ沢っ子の心をほぐしてくれたようです。どの学年、どの学級をのぞいても、やわらかい表情がうかがえ、学校生活を楽しんでくれているようです。

そんな三ツ沢っ子の活動の様子を紹介します。

4月第2週には、「ほたる愛育週間」の活動がありました。ほたる委員会の5・6年生が活動をリードし、1～6年生の全クラスにほたるの幼虫を届けて育て方をレクチャーしました。3日後の「ほたる交流会」では、クラスごとに「ほたるドーム」に成長を願ってその幼虫を放流しました。近年の猛暑(酷暑)によりほぼ死滅させてしまった反省をもとに、今年こそは、というほたる委員の気持ちが三ツ沢っ子に届いたものと思っています。



先週(第3週)、1年生を迎える会を実施しました。6年生の企画委員・集会委員が約1時間で行う会全体のプログラムを考え、その内容を全校に周知・確認して盛大な会として成功させました。

各学年から1年生へそれぞれ歓迎のプレゼントには、学校よさについてイラストを交えて伝えるメッセージや、自分たちが好きな教科の紹介、校歌(第二校歌も)の歌詞が書かれたポスターの贈呈など、それぞれが1年生の気持ちに寄り添ったものでした。また、体育館内を移動して答えを表明するダイナミックな二者択一クイズは、集会委員のアイデアで実現したそうです。



このような三ツ沢っ子の学びの様子につきましては、本校 WEB ページに「校長室より」コーナーを新設して随時更新しながら掲載しています。お時間がある際にのぞいてみてください。

学校の教職員としてはこのような姿がみられているからと、この状況に甘んじてはいけません。今、教育界に求められている「子どもの主体的な学び」のよりよい実現に向けて教職員が一丸となって歩みを進めていきます。そのためには、「子どもの声」がとても重要です。三ツ沢っ子が何を考え、どのように実現していきたいのかを教師がしっかり受け止め、よりよい方向性に導いていきたいと考えています。そこで、校長室前に「こころのポスト」を新設しました。



これらの内容を含んだ今年度の「中期学校経営方針」につきましては、来る5月9日に開催を予定している松本中学校ブロック学校運営協議会において確認・承認ののち、本校 WEB ページに公開いたします。皆様声を聴きながら学校運営を進めてまいります。引き続きよろしく願いいたします。



本校 WEB ページ
には、こちらから